

部の運営方針・課の目標設定書(平成31年度)

部コード	09	部名	水道局	部長名	長塚 九二夫
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>◇『我孫子市水道事業ビジョン』に定める基本目標[安全][強靱][持続]の実現に向け『我孫子市水道事業基本計画2019年度～2028年度』に掲げる6つの基本方針に基づき、主に次の取り組みを実施します。</p> <p>[安全]</p> <p>1. 良質な水道の維持 「我孫子市水道事業水安全計画」を水道水の供給過程における総合的な水質管理とリスクマネジメントに活用します。これにより水質検査を的確に実施すると共に高度浄水処理施設及び連続自動水質監視装置の保守点検や自己水源(深井戸)の計画的な機能保全を図ります。また、貯水槽水道は継続的に衛生管理強化に努めます。</p> <p>[強靱]</p> <p>2. 施設強靱性の維持 浄水場等(湖北台・妻子原・久寺家)の各種設備に係る改良事業は、経済合理性に基づく適正規模での設備更新と長寿命化に向けた計画的修繕工事を併せて進めます。また、水道管路整備では、経年劣化配水管路や重要給水施設等に供給する基幹管路の耐震化への更新工事を行います。</p> <p>3. 災害対応の強化 日本水道協会合同防災訓練や県内水道事業体間における各種情報伝達訓練への参画のほか、自主防災組織等と連携した応急給水訓練の実施など、災害や水質事故等に即応する危機管理体制の強化に取り組みます。</p> <p>[持続]</p> <p>4. 水道事業の継続性確保 「我孫子市水道事業アセットマネジメント」の活用により、中長期的な施設更新需要と財政収支を見通すための点検手法の確立に取り組めます。また、水資源の適正活用に向けて、北千葉広域水道企業団からの受水と自己水源(深井戸)のコスト検証を進め、経済性や効率性が確保された取・受水管理に取り組めます。このほか、浄水有効利用のための漏水調査の実施等、継続的な漏水防止対策事業に取り組めます。業務効率化方策は「浄水場設備運転及び維持管理業務等包括委託」及び「料金・給水・会計業務等包括委託」の着実な実施と官民連携の推進により、一層のお客様サービス向上と業務効率化に努めます。また、組織力強化のために職員人材育成を体系的に実践します。</p> <p>5. 財政健全性の確保 「我孫子市水道事業経営戦略」による投資・財政計画に基づき、資金収支のバランスを図ります。</p> <p>6. 将来につなげる新施策の検討 水道事業経営に関わる運営手法や水道への再生可能エネルギーの導入等について、最新知見や先進事業体の動向に注視します。</p>				<p>「我孫子市水道事業ビジョン」の3つの基本目標および「我孫子市水道事業基本計画」の6つの基本方針に沿って事業を実施した。このうち、特に施設強靱性の維持では、計画された更新工事等を推進した。また、災害対応の強化では、各種訓練のほか、台風で被災した他市での応援給水活動を行い災害現場での対応力を強化した。財政健全性の確保に関しては、「我孫子市水道事業経営戦略」に基づき、地方債の借入を行った。水道事業の継続性確保では、包括委託について受託事業者のノウハウを生かしながら業務を進めるとともに、次期包括委託への移行準備を行った。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				運営方針に掲げた目標は概ね達成できた。将来に向け、水道事業の継続性を確保していくためには、今後とも包括委託での官民の効果的な連携を進めていくとともに、若手職員を中心に体系的な人材育成を実施していく必要がある。	

課コード	01	課名	経営課	課長名	嶋田 繁
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>◇『我孫子市水道事業ビジョン』の施策に係る計画事業の着実な執行を図ります。</p> <p>■水道事業基本計画(10カ年)が円滑に進むよう、適切な進行管理を行うと共に、財政面では経営戦略に留意する他、適宜、アセットマネジメントを活用し収支見通しを把握する。</p> <p>■組織・職員管理、財務・会計管理、庁舎維持管理、広報活動、局内庶務等に関わる予定事業の適正な執行と管理に努める。</p> <p>■災害対応強化に向け、日本水道協会合同防災訓練や県内水道事業体間における各種情報伝達訓練への参画の他、自主防災組織等と連携した応急給水訓練を実施する。</p> <p>■料金・給水・会計業務等包括委託について適切な業務監督と指導・助言を行うと共に、相互に協調・協力のうえ、官民連携効果を発揮し、一層のお客様サービスの充実と経費の縮減に努める。また、引き続き、漏水調査を効果的に実施することで無効水量の抑制を図る他、貯水槽水道の適切な管理促進にも努める。</p> <p>■組織の少数精鋭化に向け、人材育成への取り組みを体系的かつ継続的に実践する。</p> <p>■改正水道法(H30.12公布)に伴う、国・県等の動向や例規等の諸改正に留意する他、水道分野での新技術導入に向けた調査・研究の状況にも注視する。</p> <p>■平成31年度で契約満期を迎える現行の包括委託について、これまでの事業効果と業務水準を精査し、新たな業務調達に向けた準備を進める。</p>				<p>「我孫子市水道事業ビジョン」の3つの基本目標および「我孫子市水道事業基本計画」の6つの基本方針に沿って、予定された事業を適正に執行した。災害対応の強化では各種訓練を行ったほか、台風で被災した他市での応援給水活動を行った。財政健全性の確保に関しては、「我孫子市水道事業経営戦略」に基づき、地方債の借入を行った。現行の包括委託については受託事業者と協力しながら業務を進める一方、次期包括委託についてはプロポーザルにより受託事業者を選定し、次期に移行するための準備を行った。人材育成については新任職員を中心に、外部研修も含めた体系的な研修を行った。</p>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<p>水道経営の基盤強化を図るために、計画事業を着実に推進し、かつ事業の執行にあたっては、経済合理性の確保が徹底されるよう進行管理に努める必要がある。また、組織の少数精鋭化に向け、包括業務委託による官民連携効果をより高い水準で発揮できるよう、受託者事業者と鋭意協調・協力のうえ、業務の領域と裁量を最適化していくことが必要である。さらに、職員教育では、効果的なジョブローテーションが持続可能となるよう、体系的な育成を実践することに併せ、経験則を形式知とする事務要領整備にも継続的な取り組みが必要である。</p>					

4. 原因分析・改善策	
<p>(課長)</p> <p>水道需要の減少と施設更新等に係る費用増大が生じている現状では、官民連携や新技術の導入などによる業務改善を進めていく必要がある。将来の課題としては事業継続に向けた体系的な人材育成が挙げられる。今後とも外部研修や業務の現場での経験を通して若手職員が必要な知識や技術を得られるよう、努めていく。</p>	<p>(部長)</p> <p>水道需要の減により収益が減る一方で施設更新に係る費用は増大しているため、水道事業をめぐる経営環境は厳しさを増している。引き続き「我孫子市水道事業ビジョン」および「我孫子市水道事業基本計画」に基づき、可能な限り簡素で効率的な経営を目指していく。</p>

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業											
事務事業名(個別事業)			重点該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1	契約事務		重無	62302	公募型一般競争入札契約率(公募型一般競争入札契約件数/全契)	%	26.67	30	32.29	107.63	現状
2	出納管理		重無	62302	不備伝票処理件数	件	55	55	48	114.58	現状
3	広報活動推進		重無	62302	あびこの水道配布数/世帯数	%	100	100	100	100	現状
4	料金の調定・徴収・収納		重無	62302	収納率	%	95.6	96	95.6	99.58	現状
5	水道事業計画の進行管理		重無	62302	当該年度執行事業件数/当該年度計画事業件数×100	%	100	100	100	100	現状
6	庁舎維持管理		重無	62302	実施件数/管理保守の予定件数	%	100	100	100	100	現状
7	組織・人事管理		重無	62302	労働生産性=(営業収益-受託工事収益)/損益勘定所属職員数	千円	105.422	106.476	125.064	117.46	現状
8	資金管理		重無	62302	流動資産回転率: 営業収益-受託工事収益/(期首流動資産)	件	0.46	0.77	0.61	79.22	現状
9	貯水槽水道の衛生管理指導		重3	62301	貯水槽水道指導件数	件	10	10	10	100	現状
10	指定給水装置工事事業者の審査		重3	62301	審査による指定率	%	100	100	100	100	現状

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	給水装置工事監理	重3	62301	審査指導後の工事承認率	%	100	100	100	100	現状
12	量水器取替・修繕業務	重3	62301	メータ交換実績	%	100	100	100	100	現状
13	直結・増圧給水の普及促進	重3	62301	指導数	件	5	10	5	50	現状
14	給水装置の維持管理	重3	62301	給水装置維持点検・修繕数	件	140	130	102	127.45	現状
15	漏水防止事業	重3	62301	調査件数	件	5,000	5,000	5,000	100	現状
16	貯蔵品管理	重無	62302	貯蔵品(たな卸資産)回転率=営業収益-受託工事収益/(期首た	%	104.1	149.04	128.21	86.02	現状
17	職員研修の推進	重無	62302	研修計画数	件	27	30	32	106.67	現状
18	料金・給水・会計業務等包括委託	重無	62302	評価基準による得点	点	485	620	485	78.23	現状
19	法務事務	重無	62302	制定及び改廃実施件数/制定及び改廃予定数	%	100	100	100	100	現状
20	公用車管理	重無	62302	点検・車検実施数/点検・車検予定数	%	100	100	100	100	現状
21	財産管理	重無	62302	財産の目的外使用に係る審査件数/申請件数	%	100	100	100	100	現状
22	予算編成	重無	62302	査定率= 予算の査定額/予算要求額	%	100	100	100	100	現状
23	決算調製	重無	62302	経営資本営業利益率=(営業利益/経営資本) × 100	%	△1	5.7	0	0	現状
24	滞納整理及び給水停止処分	重無	62302	収納率の向上	%	99.94	99.94	99.94	100	現状
25	応急給水体制の充実	重3	62301	応急給水訓練を実施した自主防災組織等の数	回	4	4	3	75	現状

部コード	09	部名	水道局	部長名	長塚 九二夫
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>◇『我孫子市水道事業ビジョン』に定める基本目標[安全][強靱][持続]の実現に向け『我孫子市水道事業基本計画2019年度～2028年度』に掲げる6つの基本方針に基づき、主に次の取り組みを実施します。</p> <p>[安全]</p> <p>1. 良質な水道の維持 「我孫子市水道事業水安全計画」を水道水の供給過程における総合的な水質管理とリスクマネジメントに活用します。これにより水質検査を的確に実施すると共に高度浄水処理施設及び連続自動水質監視装置の保守点検や自己水源(深井戸)の計画的な機能保全を図ります。また、貯水槽水道は継続的に衛生管理強化に努めます。</p> <p>[強靱]</p> <p>2. 施設強靱性の維持 浄水場等(湖北台・妻子原・久寺家)の各種設備に係る改良事業は、経済合理性に基づく適正規模での設備更新と長寿命化に向けた計画的修繕工事を併せて進めます。また、水道管路整備では、経年劣化配水管路や重要給水施設等に供給する基幹管路の耐震化への更新工事を行います。</p> <p>3. 災害対応の強化 日本水道協会合同防災訓練や県内水道事業体間における各種情報伝達訓練への参画のほか、自主防災組織等と連携した応急給水訓練の実施など、災害や水質事故等に即応する危機管理体制の強化に取り組みます。</p> <p>[持続]</p> <p>4. 水道事業の継続性確保 「我孫子市水道事業アセットマネジメント」の活用により、中長期的な施設更新需要と財政収支を見通すための点検手法の確立に取り組みます。また、水資源の適正活用に向けて、北千葉広域水道企業団からの受水と自己水源(深井戸)のコスト検証を進め、経済性や効率性が確保された取・受水管理に取り組みます。このほか、浄水有効利用のための漏水調査の実施等、継続的な漏水防止対策事業に取り組みます。 業務効率化方策は「浄水場設備運転及び維持管理業務等包括委託」及び「料金・給水・会計業務等包括委託」の着実な実施と官民連携の推進により、一層のお客様サービス向上と業務効率化に努めます。また、組織力強化のために職員人材育成を体系的に実践します。</p> <p>5. 財政健全性の確保 「我孫子市水道事業経営戦略」による投資・財政計画に基づき、資金収支のバランスを図ります。</p> <p>6. 将来につなげる新施策の検討 水道事業経営に関わる運営手法や水道への再生可能エネルギーの導入等について、最新知見や先進事業体の動向に注視します。</p>				<p>・運営方針に掲げた目標を概ね達成することができた</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<p>運営方針に掲げた目標は概ね達成できた。将来に向け、水道事業の継続性を確保していくためには、今後とも包括委託での官民の効果的な連携を進めていくとともに、若手職員を中心に体系的な人材育成を実施していく必要がある。</p>	



課コード	02	課名	工務課	課長名	白坂 正基
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<p>◇『我孫子市水道事業ビジョン』に定める基本目標[安全][強靱][持続]の実現に向け『我孫子市水道事業基本計画2019年度～2028年度』に基づき、計画的な執行に努め進捗管理します。</p> <p>【安全】</p> <p>○いつでも安心して飲める良質な水道</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水質管理業務</li> <li>・浄水場系包括業務委託</li> <li>・浄水場施設の更新業務</li> <li>・適切な収受配水管理</li> </ul> <p>【強靱】</p> <p>○どんな時も給水を続けるられる強くたくましい水道</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の長寿命化</li> <li>・経年劣化水道管路の更新改良、耐震化</li> <li>・基幹水道管路の更新改良、耐震化</li> <li>・水道未普及地区の解消</li> <li>・配水管の新設拡張工事</li> <li>・配水管路自己施工工事の維持管理</li> </ul> <p>【持続】</p> <p>○いつまでも地域のために在りつづける水道</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管路情報管理システム運用</li> <li>・浄水場系包括業務委託</li> <li>・水道管路施設維持修繕</li> </ul>				<p>目標に掲げたすべての事業について、運営方針にそって概ね執行することができました。</p>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少数な現体制のもとでは、引き続き連携を強化し円滑な業務を進めることが必須である。</li> <li>・『我孫子市水道事業基本計画2019年度～2028年度』に基づき、31年度から、浄水場設備の更新を本格的に行なうため、専門的な技術職を長期的な視野で計画的に人材を育成する必要があります。</li> </ul>					



4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名(個別事業)	重 プ 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価	
1 浄水場施設の更新業務	重3	62301	設備機器更新工事の進捗率	%	89	100	89	89	現状	
2 浄水場系包括委託業務	重3	62301	浄水場における不具合修理件数/浄水場における不具合発見件数	%	100	100	100	100	現状	
3 経年劣化水道管路の更新改良・耐震化	重3	62301	経年劣化管路・更新布設替延長距離(m)	m	2,547	5,473	5,333	97.44	現状	
4 水質管理業務	重3	62301	水質基準適合率	%	100	100	100	100	現状	
5 配水管路自己施工工事の指導・検査	重3	62301	適正に審査・指導・検査を実施した件数	件	15	15	14	93.33	現状	
6 配水管路の新設・拡張整備	重3	62301	配水管新設延長距離(m)	m	100	500	0	0	現状	
7 水道管路施設維持修繕	重3	62301	維持修繕工事件数	件	50	50	47	106.38	現状	
8 管路情報管理システム運用	重3	62301	データ更新距離(m)	m	4,884	5,973	5,333	89.29	現状	
9 浄水場施設の維持管理業務	重3	62301	浄水場無事故割合((浄水場数-浄水場停止事故件数)/浄水場数)	%	100	100	100	100	現状	
10 基幹水道管路の更新改良・耐震化	重3	62301	基幹管路基礎調査延長距離(m)	m	0	6,720	6,720	100	現状	

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名（個別事業）	重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11 適正な取受配水管理	重3	62301	水源余裕率（確保している水源水量／一日最大配水量）-1）	%	35	35	35	100	現状